

Captain's Talk

第一回

旅に想う

「ばしふいっくびいなす」元船長が語る



由良 和久
ゆら かずひさ

1961年大阪生まれ。幼少時より海に憧れ小学6年生の時将来の職業に関する作文を書いた時から船に乗ることを決意!

1981年広島商船高等専門学校を卒業後、日本クルーズ客船(株)の前身である西日本商船(株)に入社。その後、「ゆうとびあ」、「ニューゆうとびあ」、「おりえんとびいなす」、「ばしふいっくびいなす」と、客船一筋に37年。2000年から「ばしふいっくびいなす」の船長を務め、国内外200を超える港を訪れ2018年4月同退職。

学生時代はテニス部に所属。特技は料理。座右の銘は「和を以て貴しとなす」。

はじめに

「クルーズのゆたか倶楽部」会員の皆様、こんにちは!

私は、2018年4月まで、日本クルーズ客船(株)「ばしふいっくびいなす」の船長を務めておりました由良和久(ゆらかずひさ)と申します。

在職中には、「おりえんとびいなす」「ばしふいっくびいなす」古くは「ゆうとびあ」「ニューゆうとびあ」で、多くの皆様にお世話になりました。今更ながらではございますが、この場をお借りし深く御礼を申し上げます。

また、この度は、クルーズのゆたか倶楽部様とのご縁がとなり、「ボン・ボヤージ」誌のコラムを担当させて頂くこととなりました。つたないご案内になるかと思いますが、しばらくの間お付き合いくださいませ。

りけり。

また、旅は計画を立てること自体が大きな楽しみとおっしゃる方も多おおいでになることと思います。

反面、細かく計画を立てるのは何かと面倒なことも。思いとしてはここに行きたい、あの景色が見たい、はたまた美味しい物もたくさん食べたこともなるとそれらを効率よくつなぎ合わせるのにはなかなか難しいものです。そこで登場するのが、旅行社やクルーズ船社の企画部門! 大勢の皆様の想いを見据えてそれを具現化するようプランニングをするセクションです。季節ごとに行き先を定め航海ごとにテーマを持って航海(旅)を創造していく。発表されたクルーズのパンフレットをよく見てみると、それを企画したスタッフの熱意が伝わってくるものです。是非



はしふいっくびいなす

そんな彼らの熱い思いを今後のご参考に! (特にゆたか倶楽部の企画するツアーは発想がユニークでいつも興味津々ですね)

(ところで、私が初めてゆたか倶楽部の松浦会長にお会いしたのは船に乗り始めて間もなくの頃、いやあホント怖かったなあ……ただお話をさせて頂くと、とても穏やかなジェントルマン! また旅行に関して本当のプロフェッショナル! 多くのことを教わりました。それにしてもあの会長からあのハンサムな社長が……ただに不思議。こだけの話ゆたか倶楽部のスタッフの皆さんもよく言っていたなあ……)

「旅(航海)」の始まり

まずは、自己紹介がてら、私にとつての旅はまさしく航海そのもの。幼い頃の海との出会いがそもそものきっかけとなり海に憧れ、運よくその願いが叶い商船学校へと進学。卒業当時海運界は大不況の真つ

また、もちろんそんな企画には周到な計画・準備が必要なことはいまでもありません。

特に航海が長くなればなるほど、また初寄港の港が加わる時はなおさらです。

私自身、現役の頃には、初寄港の港へと下見行脚に行かされることもしばしばでした。またこの行脚旅行? がなかなか大変! もちろん目当ての地は初めてのところばかり、行く先々では思わぬハプニングに見舞われることも度々。

特に世界一周クルーズの下見ともなれば尚更のこと、それらエピソードの触りだけでも、さて何時間あつても足りないほどです。えっ? 聞いてみたいって? ではご要望にお応えして一つお話をさせて頂きます(笑)。

これは、ある年のワールドクルーズの港湾視察のためニューヨークからロンドンに向かうときのこと。ニューヨークで港関係者との打ち合わせを終えてタクシーに乗り込みジョン・F・ケネディ(JFK)空港に向かいざ出発! 運転席には陽気なラテン系のドライバー。私がニューヨークを訪れるのが初めてと伝えると、タイムズスクエアやエンパイアステート

ただ中でしたが、これまた幸いにも「客船」と出会い、それからおおよそ37年間、皆様と共に楽しく旅してまいりました。

幾度もの航海を重ね、思い出に残るクルーズや港も数多のごとくですが、今なお、海を舞台のその旅は続き、終わりは先のことになりそうです。

ところで、皆様もいろいろな所に旅してこられたことと思いますが、旅を始めるには、何かそのきっかけがお有りになったはず。綺麗な景色に魅せられて、歴史の探訪、人に誘われて、ただなんとなく、その答えは様々かと思えます。特に船旅ともなるとなかなかその踏ん切りがつかなかったようなこともよくうかがえます。皆様は如何でしたか? えっ? 躊躇なく! 大したものですよ! どうか、その意気込みでこの

ビルの傍らを手慣れた様子で走り抜け空港へ。「キングコング」や「めぐり逢い」などで見た映画の世界がそのままに! まさにこれも旅の醍醐味の一つでしょうね。さて、ラジオの曲に合わせ今にも踊りだしそうなドライバーに冷や冷やししながら高層ビル群を後に空港の案内表示が見えたところで、やっと踊るのを諦めてくれたドライバーがおもむろに「そう言えばランチは何だった? 」と聞いてくる。ん? ランチ? と

思いながら正直にハンバーガー! と答えたところ彼は気前良くOK! と言いながら更にスピードアップ。何が「OK」なんだと思いつつ、走ること十数分、無事空港の景色が見えてきたので一安心……想像以上に大きな空港、混雑する車列をかき分け無理やり車寄せに停車、慌ただしく車を降ろされ目の前のゲートナンバーを確認するとそもそも初めに伝えたはずのゲートとはちよつと違う……嫌な予感。少々不安に思いながら進んで行くとそこはルフトハンザ(ドイツ)航空のカウンター!

あっ! そこで初めて、さつきドライバーに聞かれたのは、「LUNCH」(昼食)ではなく

先も楽しい船旅をお続けください。さて、旅先ではとかく時間を気にしがちなものですが、私事ながら、船で海を渡るとき、時間は常に太陽や星と共にあると感じることがあります。長い航海では、海の表情をうかがいながら時折、空を見上げてみれば時計なんかなくても大丈夫な気になつてきます。そんな風に思えたのならしめたもの! 大いなる自然と共に緩やかに流れる時間を身体で感じながら、さあ旅の始まりです。

「旅」の計画

旅をするには、やはりそれなりに計画があつた方が良く越したことはありません。

当てのない旅もそれはそれで良いのかも知れませんが時と場合によ

「LUNCH」(ミサイルの発射装置よろしく航空機の飛び立つ場所のこと)「ハンバーガー」は「ハンブルグ」と伝わったのだと! 慌てて、目指すブリティッシュ航空を探し走っていると警備員につかまり職務質問、ようやく解放されて手続き済ませ搭乗口へと向かう通路では黒山の人だかりに阻まれまた一苦勞。(なんとその日はロンドン向けのコンコルドが最後のフライトに飛び立つ前であつたとのこと)

何はともあれ無事JFK空港を飛び立ちヒースロー空港へ! もちろんこの先もハプニングの連続でしたが、それはまた折に触れて……。

あつ! 話は戻って、旅の計画はあれやこれやと夢を膨らませそのプロセスを楽しむこともどうぞお忘れなく! ただ何事にも時間には余裕が必要ですね。(特に空港、笑)

かのコンコルドがそのスピードと引き換えに犠牲にしたもの、それは、旅人にとつて大切なものであつたのかも知れませんが……いずれにしても旅は「のんびり」行きましょう!

人生もよく「旅」に喩えられますが、これもしかりですね。くれぐれも計画は詰め込みすぎないようにご注意ください!